

# 主体的に学び合う児童の育成

—ICTを効果的に活用した個別最適な学び・協働的な学びの充実を目指して—

## 第1学年 国語科

よんで たしかめよう  
「うみの かくれんぼ」



# ポイント1 児童の実態に合わせた必要感のある課題設定

といをもとう



もくひょう



ゴール



文章の中の重要な語  
や文を考えて選び出  
す。

文の構成を理解し、いきもの  
かくれんぼカードを作ろう。  
(あつめたかくれんぼでカード  
ゲームをしよう。)

どんないきものがかくれて  
いるんだろう…  
どんなにかくれかたをするの  
かな…

「つぼみ」の活動を  
振り返り、学習計画を  
考える。

子どもたちが考えてみたい、  
やってみたいという目標を設定  
し、**単元のゴール**や**学習過程**を  
共有する。



## ポイント2

# 対話や気付きの質を高める工夫



【並行読書】

図書室から集めた「かくれる」生き物について並行読書をした。お気に入りの生き物を選び、**どうして選んだのか説明する**自由交流をし、対話を深めた。また、同じ生き物でも**選んだ理由が違うことについても気付かせ単元のゴールに結び付けた。**



文章の構成について教材の文と自分の書いた文を**比較**して、いきもののカードを見直すことができた。

問いが一つ、答えが三つあるよ！

【文章の構成】



作ったカードのおすすめポイントを紹介することで他の人のカードを参考に、良いところを自分に生かそうとした。

【作ったカードを紹介】

## ポイント3

## 次の学びに生かす振り返り



完成したカードを手にとると、子どもたちは遊んでみたいという思いを持ち、作ったカードで遊んだ。学習したことが生活に生きることを実感し、またやってみたいという学習に向かう態度が高まった。  
(他の単元でも子どもも考えたいことや、やってみたいことが見付かるよう、終末に感想を書くなど、振り返りの時間を設定した。)

### 【休み時間に遊ぶ】

**わくわくワード**

- アイデアがわく！
- 勇気がわく！
- みんなで対話を楽しもう！
- わくわくする！

どうして？	いいね！	もっと	くらべる	つなげる	まとめる
いつ？	なるほど！	なぜかという理由	くらべると同じで	合わせると	まとめる
どこで？	確かに！	くわしく言う	例えて	まず	だから
だれが？	ナイス！	特に 例え	ちがって	次に	やっぱり
何を？	面白い！	他に	あるいは	最後に	要するに
どのように？	同じ！	さらに	だから	つまり	
例えば？	いいアイデア！初めて知った！分かりやすい！	しかし また そのため	または	そして	

言葉のパレットを活用し、「言葉の宝箱」の言葉や、わくわくワードを使ってカードづくりで良いところを伝えることができた。

### 【言葉のパレット】



学んだことや気づきを  
次の学びや実生活に生かす。

### 【かくれんぼカード】